

2017年10月30日

「マスコミ功労者顕彰」決まる — 「広告」「新聞」「放送」から新たに17氏 —

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博、以下「電通」）は、マスコミ界の発展に尽くした物故功労者を顕彰する「マスコミ功労者顕彰」を5年ごとに行っておりますが、今回追加顕彰される「広告」「新聞」「放送」の各功労者17氏がこのほど決まりました。

「マスコミ功労者顕彰」は、1950年以來、わが国の産業・文化の発展向上に大きな貢献をされた広告界、新聞界ならびに放送界の物故先覚者を称え、永く後世に伝えることを企図して創設された事業です。

選考は当社が委嘱した各界の権威により5年ごとに行われ、顕彰者の芳名は東京・三宅坂「平和の群像」（広告功労者顕彰）、千鳥ヶ淵「自由の群像」（新聞人顕彰）、代々木公園「しあわせの像」（放送功労者顕彰）の銘盤に刻まれています。

今回は2012年から2016年までの物故者を対象とし、電通から委嘱された選考委員29名が、「広告功労者顕彰」7氏、「新聞人顕彰」4氏、「放送功労者顕彰」6氏を選考いたしました。

今回顕彰される功労者は次のとおりです（敬称略、逝去年月日順、カッコ内は生前の主な役職）。

〈広告功労者顕彰〉

すずき さぶろうすけ 鈴木 三郎助	（4代・味の素 名誉会長）
まつした まさはる 松下 正治	（松下電器産業〈現パナソニック〉会長）
ひぐち ひろたろう 樋口 廣太郎	（アサヒビール 会長）
はっとり れいじろう 服部 禮次郎	（セイコーホールディングス 名誉会長）
いけだ もりお 池田 守男	（資生堂 会長）
とよだ えいじ 豊田 英二	（トヨタ自動車 最高顧問）
こばやし ようたろう 小林 陽太郎	（富士ゼロックス 会長）

「広告功労者顕彰」は、電通創立50周年記念事業として始められ、今回で14回目。選考基準は、広告活動を通じてわが国の文化の発展に寄与した人とし、顕彰を受ける功労者は東京・三宅坂にある顕彰記念像「平和の群像」の銘盤に名前が刻まれ、永く世にその偉業が伝えられる。今回で計84氏となる。

〈新聞人顕彰〉

さいとう あきら
齋藤 明 (毎日新聞社 会長)
いちりき かずお
一力 一夫 (河北新報社 社主・会長)
いぬかい やすひこ
犬養 康彦 (共同通信社 社長)
ひとつなぎ とういちろう
一柳 東一郎 (朝日新聞社 社長)

「新聞人顕彰」は、電通創立 55 周年記念事業として始められ、今回で 13 回目。新聞通信事業に顕著な功績のあった人が対象で、東京・千鳥ヶ淵公園にある顕彰記念像「自由の群像」の銘盤に名前が刻まれる。今回で計 105 氏となる。

〈放送功労者顕彰〉

いとう くにお
伊藤 邦男 (全国朝日放送 会長)
まなべ こうへい
間部 耕莘 (日本テレビ放送網 社長)
はまぐち こうぞう
濱口 浩三 (東京放送 社長)
いいた ゆきお
飯田 幸雄 (東海テレビ放送 社長)
おだ きゆうえもん
小田 久榮門 (ビーエス朝日 会長)
かわぐち みきお
川口 幹夫 (日本放送協会 会長)

「放送功労者顕彰」は、電通創立 70 周年記念事業として始められ、今回で 10 回目。放送事業に大きな功績を残し、わが国の放送文化の発展に貢献した人を対象とし、東京・代々木公園にある「しあわせの像」の銘盤に名前が刻まれる。今回で計 46 氏となる。

以 上